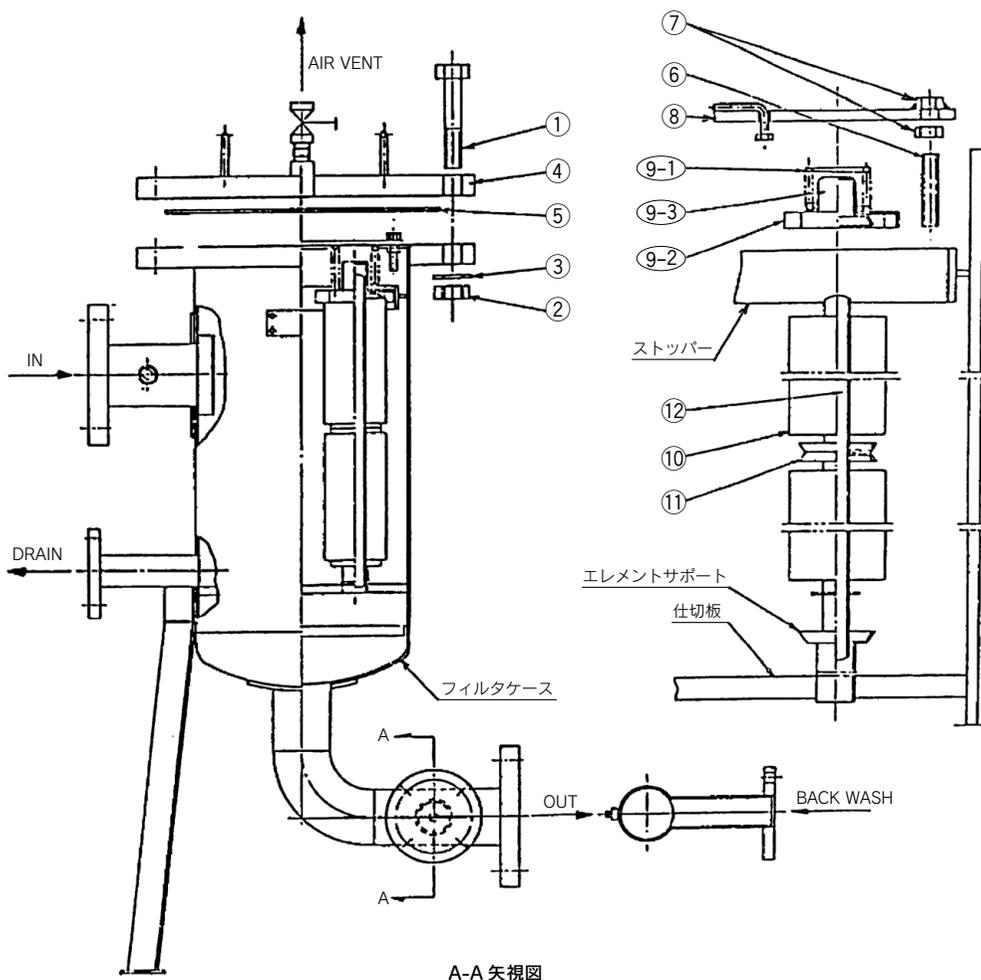


## ① フィルタ分解組立要領図



A-A 矢視図

- |        |            |             |
|--------|------------|-------------|
| ①六角ボルト | ⑥調節ボルト     | ⑨-2フレ止め     |
| ②六角ナット | ⑦ロックナット    | ⑨-3エレメントホルダ |
| ③座金    | ⑧エレメント押え板  | ⑩エレメント      |
| ④カバー   | ⑨エレメント取付金具 | ⑪ジョイント      |
| ⑤ガスケット | ⑨-1スプリング   | ⑫エレメントガイド   |

## 2 オーバーホール

- ①目詰りにより差圧が上昇し、Element交換差圧(0.1MPa)に達したらElementを新品と交換してください。
- ②オーバーホール時のElementの取出し、取付けは次の順序で行ってください。

## 3 カバー取外し

- ①IN、OUTの弁を閉じてください。
- ②AIR VENT、DRAINを開いてフィルタ内の圧力をゼロにし、内部の流体を全部排出してください。
- ③フィルタカバーとフィルタケースを締め付けている①②のボルト、ナットを最初平均に少しずつ緩めてゆき手でナットが廻るようになったら端から順にはずしてください。
- ④カバーとガスケットを取外してください。

## 4 Elementの取外し方

- ①Element押え板を取外してください。  
⑥⑦の調節ボルト、ロックナットはそのまま板にセットしておいてください。ただし、現在使用しているElementから他の種類のElementに交換する場合は調整が必要です。  
もしそのまま調整しないで取付けるとシール不完全またはElementの締めすぎとなり変形の原因となりますので注意してください。調整方法は「[7]他のElementを組込む場合の調整方法」を参照してください。
- ②Element取付金具、Element、ジョイント、Elementガイドの順に取出してください。  
Elementガイドは無理に取出す必要はありません。  
また、Elementホルダを取出した後、図1の要領でElementガイドを取出すことにより、Element、ジョイントを一括して取出すことができます。

注) ジョイントを必要としない場合もあります。

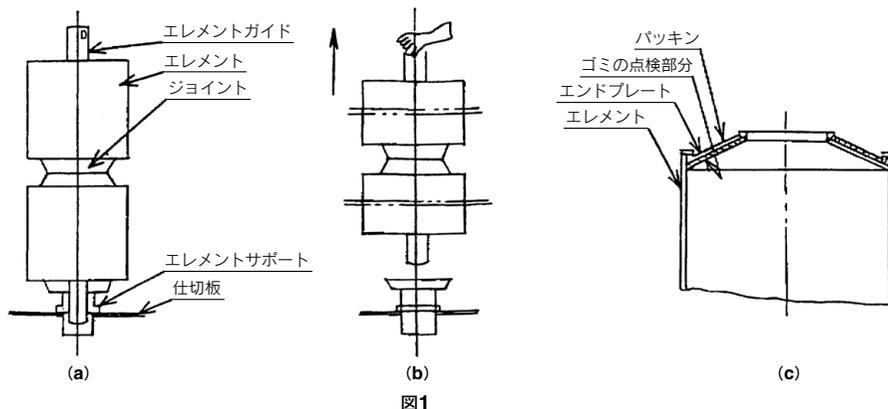


図1

## 5 Elementの取付け方法

(清浄な環境で取扱ってください。)

- ①マイクロメッシュElement[円筒およびブリーツ(球面パッキンを使用しないもの)]および焼結Elementの場合はエンドプレートとパッキン間のゴミを必ず完全に除去してください。[図1(c)参照]
- 注) テフロンパッキンを使用しているものはすべて交換してください。これは硬いため再度使用されるとシール不完全となりますので注意してください。
- ②Elementガイドを取外した時は取付けてください。
- ③Element、ジョイント、Element、Element取付金具の順に同心になるように正しく差し込んでください。

注) ジョイントを必要としない場合もあります。

Elementを取付ける時Elementガイドの上端から落として組込むような事は避けてください。

アクチュエータ

モジュラ型圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラ型圧力制御機器

工業用フィルタ

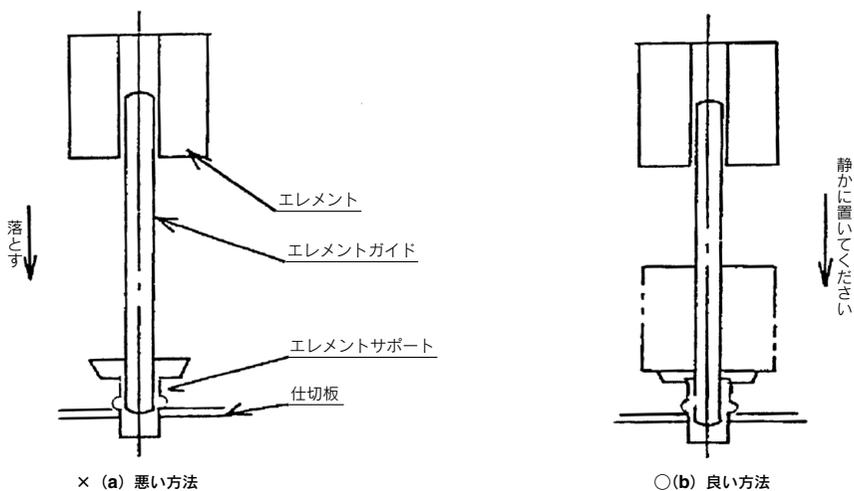


図2

※また配列が多くエレメント重ね数が3~4段の場合はあらかじめエレメントガイドにエレメント、ジョイントをセットした物をエレメントサポートにセットする事もできます。[図1参照 取出す時の逆の要領]

④エレメント取付金具は(図3)の(b)(c)で示すような方法で取込んでください。

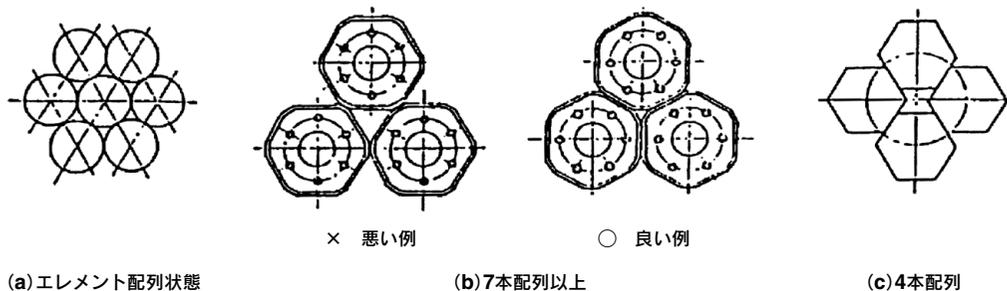


図3

注 図3(b)(c)に示すのは図4のエレメント取付金具(スプリング、フレ止め、エレメントホルダ)の配列状態を示す。

⑤エレメント押え板を静かに取付けてください。

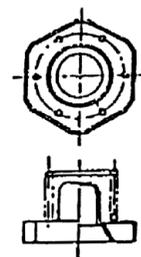
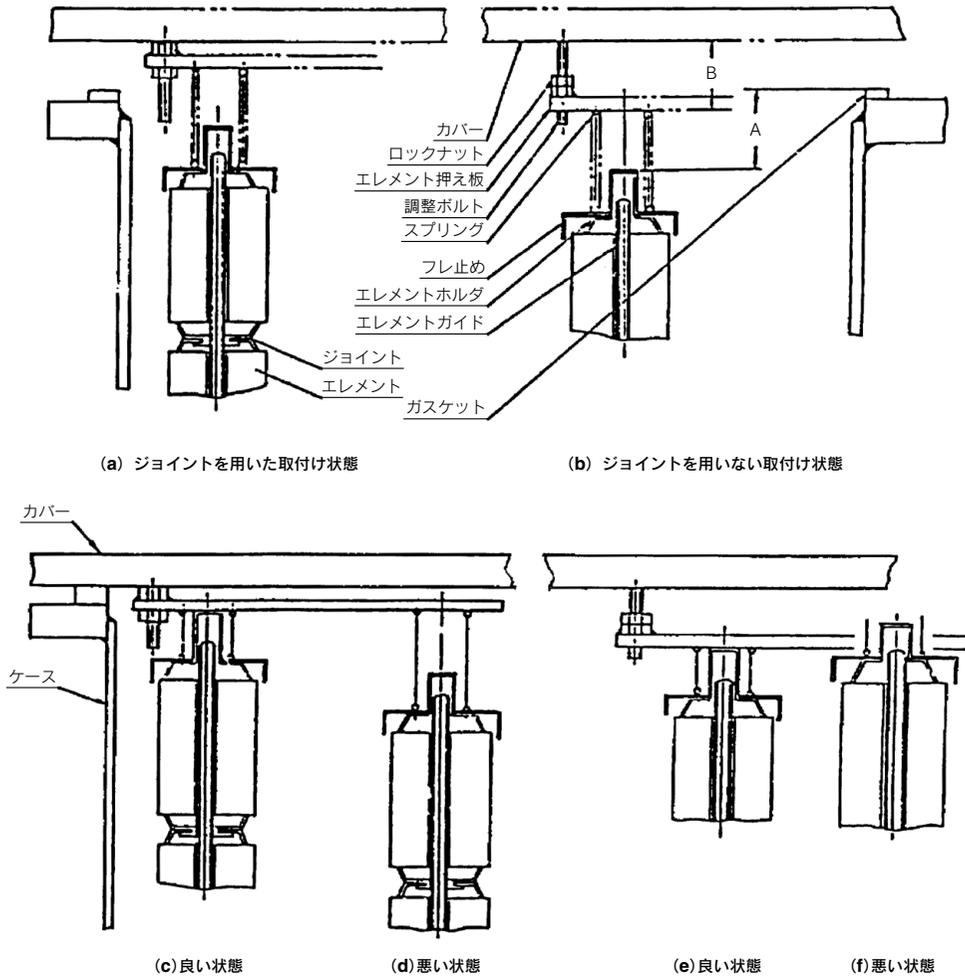


図4

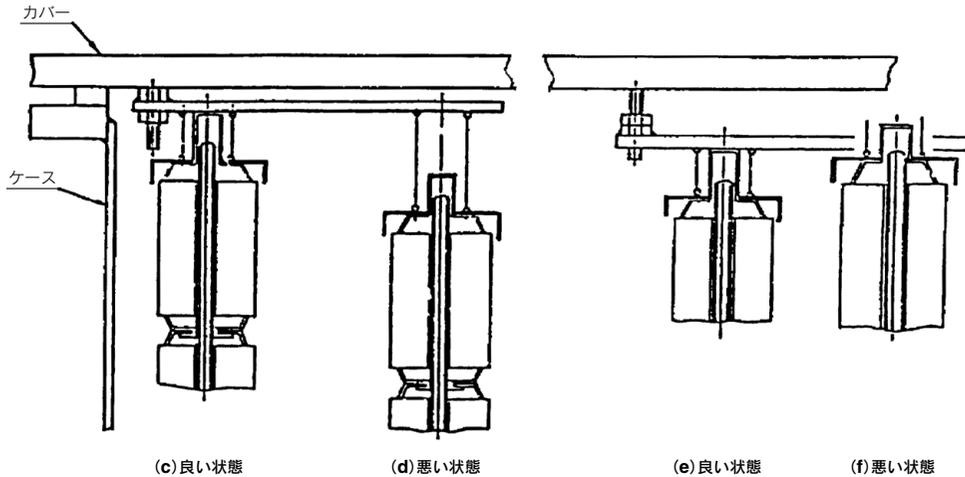
## 6 カバーの取付け方法

- ①ガスケットの破損なき事を確認して所定の個所にセットし①②③のボルト、座金、ナットをセットして対角状に均等に締め付けてください。  
ガスケットを破損している場合は新しい物と交換してください。
- ②シート面から圧力洩れのない事を確かめてから運転に入ってください。  
(運転方法は取扱い説明書をご確認ください。)



(a) ジョイントを用いた取付け状態

(b) ジョイントを用いない取付け状態



(c) 良い状態

(d) 悪い状態

(e) 良い状態

(f) 悪い状態

図5 締め付けた状態

## 7 他のELEMENTを組込む場合の調整方法

- ①ELEMENT押え板を取付ける時(図5)図中に示す調整ボルト、ロックナットを用いてカバーを取付けた時【図5の(c)、(e)参照】ELEMENT押え板とELEMENTホルダが密着状態になるように調整してください。
- ②調整方法は次の方法で行ってください。

(図5の(b)に示す様にA寸法を測定して次にB寸法がA寸法に等しくなるように調整すると図5の(e)に示すような状態となりシールが完全となります。)

ロックナットは(図5の(a)および(b))に示すようにジョイントを用いているものは下に、用いていないものは上にセットしてください。